




春ですよ — !!! 春がきましたよ — !!! フウ — !!!!

お山の季節スタートでございます。いろんなお山で山開きが続くと♪


春の季語、ご存知ですか? **山笑う**  でございます。ホツタリの言葉ですよ

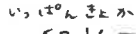
わー  春のお山は日に日に芽吹き、花が咲き、葉が開き、鳥は歌い、虫が生まれ、動物たちも目を覚ます。みーんなホラホラ。みーんなニコニコ。


山笑う春、皆さんも是非お山へ足をお運びくださいませ。(ちなみにわたしは調子に乗って今月だけで丸山峰お山に入った事務仕事が多めにたまって後悔中です。皆さんはバランスを大切に!)


**山開き**  って何だろ?

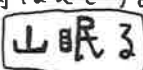
山が「開く」? 改めて考えると変な言葉ですよわ。

 ? 何が開くんたい!

今は山開きという **登山の一般許可**  がおとり日、山小屋が営業スタートする日、そんなイメージで使う言葉ですよわ。この言葉、実はとても古い言葉なんです。

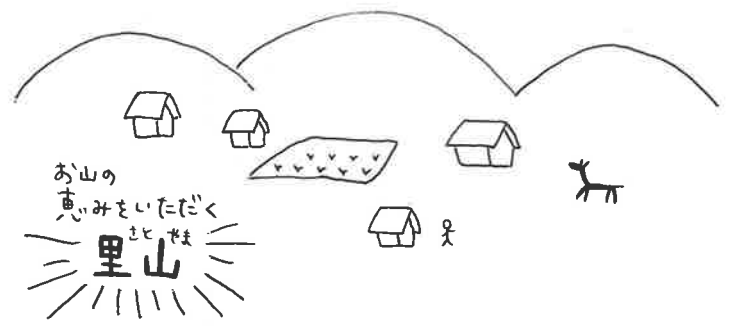
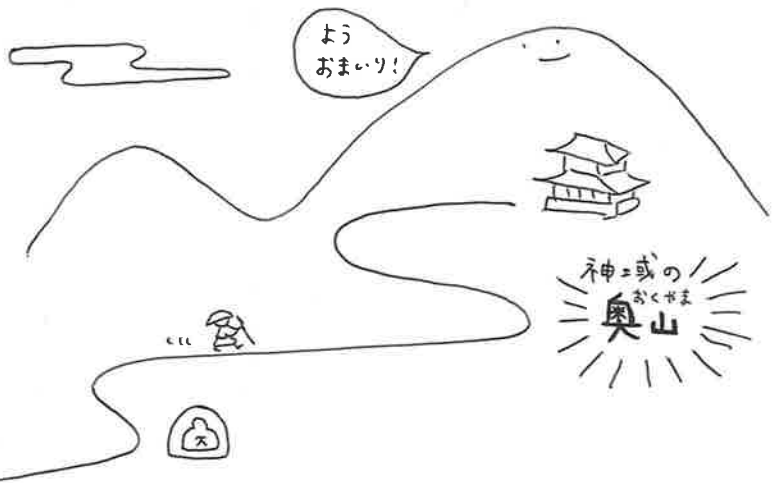
日本人にとってお山という場所は **神聖な場所**  であり、神仏の宿る場所でありました。だからこそ気軽に入れるところではなく、修行僧や山伏など、精進潔斎し修行をする者しか入ることが許されぬ場所だったのです。


ただし江戸時代に入ると「**講**」もしくは「**講社**」  という一般の人々がお山やお山にある神社仏閣に参拝する組のようなものが組織されるようになりました。そこで、其期間を定めてお山を皆が入れようになり開いたことが始まりと言われます。

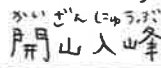
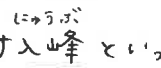

お山は月がある言でもないですし、扉がある言でもありません。でも分かるんです。「今は入っちゃダメだ」という時期が。お山を見ればわ。それはお山が開いてる時なんです。閉じてる時は入らない。冬の季語は **山眠る** 。家主が寝ている時はお邪魔しないでしょ? 言葉って本当に文化もよく現れますよね〜 (オモシロイ!)

さ、春が来て、お山が笑って、お山が開きました!

みんなでお山行こー!!



フーちゃんのちよと小話 

山伏的には山開きはとっても大切な日。開山入峰  といったり 戸開け入峰  といったり そのお山によって呼び方は様々ですが、山開きの日は皆がお山に修行で入り、そのお山の中の一番大切な場所 (祠だったり、お堂だたり、**麓**  だたりそのお山によっていろいろ) で祈りをささげます。皆が事故なくお山に入れますように、私たちをどうかお守り下さい。と。今年も皆が楽しく安全にお山に入れますように。拜